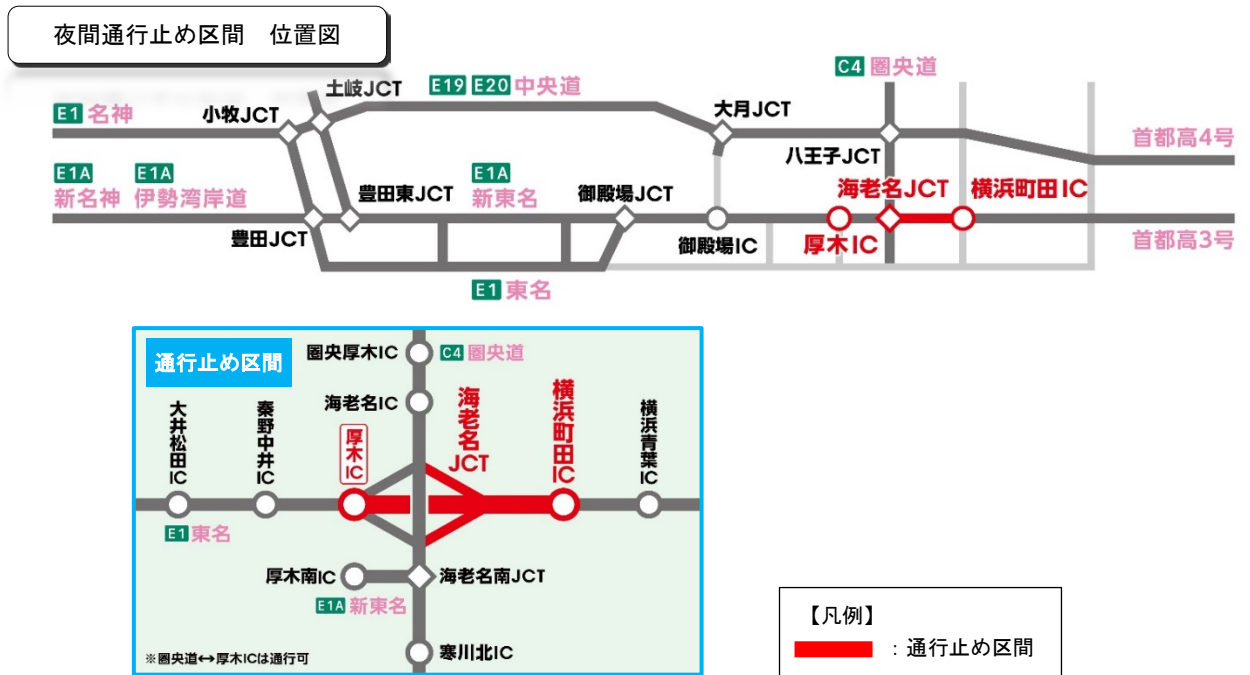


1. 工事概要

(1) 夜間通行止め箇所

E1 東名 横浜町田 IC～海老名 JCT 間（上下線）



(2) 工事内容

E1 東名 綾瀬スマートインターチェンジ（仮称）の建設に伴い、2017年3月11日（土）に東名高速道路を跨ぐ橋（跨高速道路橋）を撤去しましたが、今回は、同一箇所にて E1 東名を跨ぐ橋（跨高速道路橋）を新たに架設するため、通行止めをおこないます。

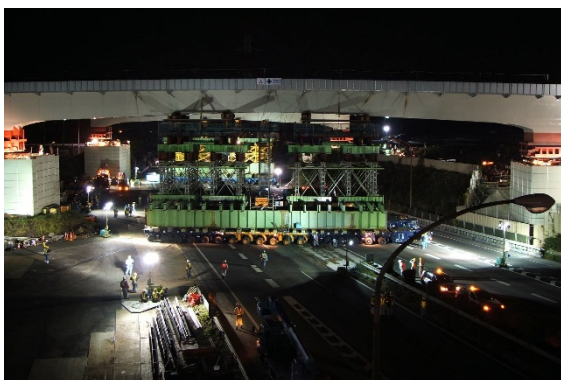
架設工事は多軸式特殊台車により、近接する「東名綾瀬バス停（下り線）」から架設場所まで橋桁を運搬し、所定の位置に据付ける作業をおこないます。



綾瀬スマートインターチェンジ（仮称）予想図

【橋梁概要】

- ① ^{しもはら}下原橋 鋼床板鋼箱桁橋 架設重量：約 550 t

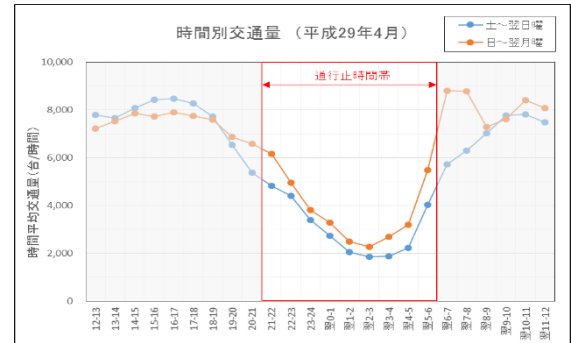
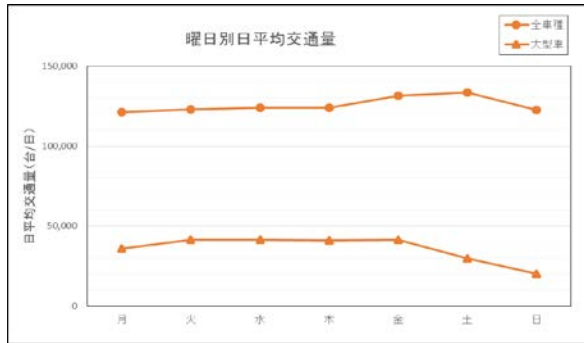


《多軸式特殊台車による架設工事の施工例》

2. お客さまへの影響を最小限とした取組み

○通行止め時期・曜日・時間帯の設定

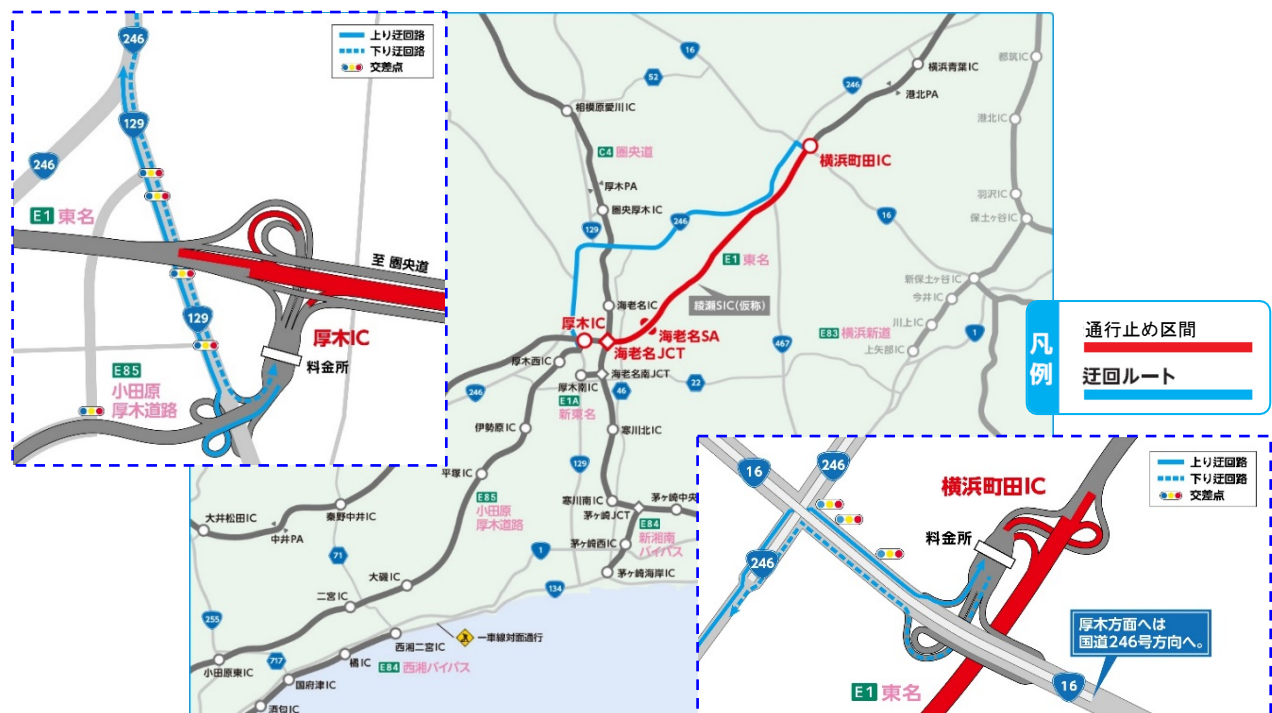
お客さまや周辺交通への影響を考慮し、交通量の増加する春休み期間およびゴールデンウィークと重複しないよう実施時期を選定しました。また、迂回路に大型車が流入することで渋滞を引き起こす恐れが高くなることから、大型車が少ない土曜日夜間の時間帯で、交通量が最も少なくなる時間帯を設定しました。



3. 夜間通行止めに伴う迂回路のご案内

夜間通行止め時に当該区間をご利用される場合は、一旦一般道に迂回していただき、再度高速道路へ乗り継いでください。主な迂回路として国道246号をご利用ください。

ルート	経路／迂回経路	所要時間 (参考) ※渋滞していない場合
通常ルート	E1 東名 横浜町田 IC ⇔ E1 東名 厚木 IC	約 10 分
迂回ルート	E1 東名 横浜町田 IC ⇔ 国道 16 号 ⇔ 国道 246 号 ⇔ 国道 129 号 ⇔ E1 東名 厚木 IC	約 40 分 《増加時間約 30 分》



《迂回路図》

4. 乗継料金調整について

通行止め区間（乗継指定 IC 間）を一般道に迂回し、再度同一方向の高速道路に乗り継がれるお客さまには、高速道路料金が割高にならないよう所定の方法により料金の調整をおこなっております。

《ETC をご利用のお客さま》

ETC をご利用のお客さまは、一旦流出する走行と乗り継ぎ後の走行を同じ ETC カードで、通常どおり ETC レーンを無線走行してください。（『高速道路通行止め乗り継ぎ証明書』の入手は不要です。クレジットカード会社などからの料金請求時に料金の調整がされます。）

《ETC 以外でご利用のお客さま（現金などご利用のお客さま）》

通行止めにより高速道路を一旦流出する IC でお渡しする『高速道路通行止め乗継証明書』を乗り継ぎ後の最初の出口 IC で、係員にお渡しください。

●乗継指定インターチェンジ（IC）

道路名	通行止め区間	乗継指定 IC	
		流出指定 IC (乗継証明書発行 IC)	再流入指定 IC
E1 東名	(上り線) 海老名 JCT →横浜町田 IC	【E1 東名高速道路】 大井松田 IC、秦野中井 IC、厚木 IC 【E1A 新東名高速道路】 厚木南 IC 【C4 圏央道】 圏央厚木 IC・海老名 IC・寒川北 IC	【E1 東名高速道路】 横浜町田 IC・横浜青葉 IC
	(下り線) 横浜町田 IC →海老名 JCT	【E1 東名高速道路】 横浜青葉 IC・横浜町田 IC	【E1 東名高速道路】 厚木 IC、秦野中井 IC、大井松田 IC 【E1A 新東名高速道路】 厚木南 IC 【C4 圏央道】 寒川北 IC・海老名 IC・圏央厚木 IC

※1 流出指定 IC から流出後 24 時間以内に再流入指定 IC で乗り継いでください。

※2 流出指定 IC で流出後、通行止めが解除された場合は、流出指定 IC で流入されても料金の調整をおこないません。

※3 流出指定 IC で流出後、再流入指定 IC から東名高速道路などへ乗り継がれるまでの間に、他の一般有料道路（※）を利用された場合、一般有料道路の通行料金は調整されませんのでご留意願います。

なお、流出指定 IC で流出後、他の一般有料道路を利用し、再流入指定 IC から東名高速道路などへ乗り継いだ場合、東名高速道路の通行料金は上記と同様に調整をおこないません。

（※）他の一般有料道路・・・小田原厚木道路、新湘南バイパス、横浜新道など

5. 工事規制情報のご案内

(1) 交通規制のご案内

- ポスター、チラシ、横断幕、懸垂幕、立看板などで事前にお知らせします。
- NEXCO 中日本公式 WEB サイト内において、工事規制情報をご確認いただけます。

<http://www.c-nexco.co.jp/>



(2) お出かけ前に入手できる道路交通情報

- 日本道路交通情報センターの道路交通情報

インターネット（道路交通情報 Now!）(<http://www.jartic.or.jp/>) や電話で道路交通情報をご確認いただけ入手できます。

電話番号 全国統一番号 050-3369-6666（携帯短縮ダイヤル「#8011」）

※全国どこからでも、最寄りの情報センターに接続します。

- i Highway 中日本（アイハイウェイ中日本）

全国の高速道路交通情報を携帯電話の WEB サイトを利用して、マップや文字でご確認いただけます。また、通行止めが発生または解除した際にメールでお知らせする「マイルート機能」などをご利用いただけます。



<http://c-ihighway.jp/>



- ハイウェイテレホン

リアルタイムの主要高速道路情報（5分更新）をお電話にて24時間入手できます。

携帯電話から「#8162 [はーい、無事（帰る）]」におかけいただくと、その場所から最も近い地域の高速道路情報が音声で入手いただけます。

固定電話からは「#8162」をご利用いただけません。固定電話からは、以下のハイウェイテレホンをご利用ください。

東名・小田原地区情報	東京局	03 (5491) 1620	富士局	0545 (51) 1620
	川崎局	044 (866) 1620	静岡局	054 (288) 1620
	横浜局	045 (923) 1620	浜松局	053 (435) 1620
	御殿場局	0550 (82) 1620		

また、音声によるハイウェイテレホンと併せて携帯電話の WEB サイトでご確認いただける、「目で見えるハイウェイテレホン」もご活用ください。

・ 関東・甲信越地方の高速道路情報

<http://www.yokohama1620-c-nexco.jp/main/index.shtml>



(3) 高速道路上で入手できる道路交通情報

- 道路交通情報板
- ハイウェイラジオ（1620kHz）
- ハイウェイ情報ターミナル（サービスエリア、パーキングエリアに設置）
- VICS（VICS 対応ナビゲーションなどで、道路交通情報が入手できます）

(4) その他

- ・ 道路緊急ダイヤル（#9910）

高速道路などをご利用中に「故障車」や「落下物」、「道路の損傷」などを見つけたら『#9910』道路緊急ダイヤル（通話料無料）にお電話ください。

6. お願い

① ゆとりをもった高速道路のご利用を

工事期間中は、渋滞や迂回により通常より所要時間が多くかかるおそれがあります。ゆとりをもった計画を立てていただき、お出かけ前には最新の交通情報を確認の上、ご利用いただきますようお願いいたします。また、天候および作業進捗等により工事期間を変更する場合があります。情報板や立看板などでお伝えしてまいります。ご利用の際はお手数をおかけしますが、事前に通行止めや規制情報をご確認ください。

② 渋滞末尾での追突事故にご注意を

渋滞時には、渋滞の車列の中や渋滞末尾で追突事故や接触事故が発生しています。渋滞末尾に近づいた際にはハザードランプを点灯し、後続車に合図を送るとともに前車との車間距離を十分に確保して、追突事故の防止にご協力ください。



③ 全席シートベルトの着用を

高速道路上の事故では、シートベルトを着用していない乗員が、衝突の反動で車の外に投げ出されて死亡する事故が毎年報告されています。

運転席と助手席だけではなく、後部座席も含め必ず全席シートベルトの着用をお願いいたします。2008年6月1日に道路交通法が改正され、高速道路では後部座席のシートベルト着用も義務付けられています。



④ 高速道路上で停止した場合は

高速道路では停止車両への後続車の追突や道路に出て轢かれるなどの二次事故が多数報告されており、車内や道路上に残るのは大変危険です。

事故や故障などにより車が高速道路上に停止してしまった場合は、ハザードランプを点灯するとともに、無理のない範囲で発炎筒・停止表示器材を車の後方に設置し、後続車へ合図してください。（設置する際は車線から離れ、ガードレールなどの防護柵より外側の安全な場所を通って移動してください。）



運転者も同乗者も全員が、ガードレールなどの防護柵より外側の安全な場所へ避難してください。避難後は、道路緊急ダイヤル（#9910）や110番、非常電話などで通報をお願いいたします。通報いただくことで、緊急車両が現場に救援に向かうとともに、高速道路の情報板やハイウェイラジオなどで後続車に前方の危険情報を発信します。

⑤ 高速道路の逆走にご注意を

方向間違いや出口間違いをした方があわててリターンなどをおこない、高速道路を逆走して重大事故が発生する事象が報告されています。

万が一、逆走車両を発見した場合は、料金所やサービスエリア・パーキングエリアなどの安全な場所から、110番への通報をお願いいたします。

また、高速道路をご利用される際には、標識や路面標示を十分ご確認ください。指定された方向への走行をお願いいたします。

万が一、逆走をしてしまった場合には、周囲を確認したうえでハザードランプを点灯して路肩などに停止し、安全な場所から速やかに110番への通報をお願いいたします。

